

構成文化財の紹介



日本遺産は地域の魅力や文化を伝える上で、複数の「構成文化財」によって成り立っています。

日本遺産「鎮守府・呉」では、現在20件の構成文化財が認定されています。ここでは、いくつかの構成文化財を紹介します。

旧呉鎮守府司令長官官舎



港を望む小高い丘の上に建設された官舎で、全国的にも貴重な金唐紙が洋館の内装に使われています。

本庄水源地堰堤水道施設



呉鎮守府水道の貯水池として整備された水道施設。壮大で重厚な外観で、国重要文化財にも指定されています。

旧呉海軍工廠時計塔



旧呉海軍工廠に設置されていた時計塔で、終戦まで工廠と共に歴史を刻んできました。

昭和町れんが倉庫群



当時は大砲庫などに使われ、空襲で一部を損壊。戦後、購入した企業が修理し、現在も倉庫として活用されています。

特集Ⅰ 日本遺産「鎮守府・呉」10周年



地域の歴史的な魅力や特色を通じて、日本の文化・伝統を語る「ストーリー」として、文化庁が認定する「日本遺産」。

呉では「鎮守府」が2016年(平成28年)に日本遺産の認定を受け、今年で10周年を迎えます。今回の特集では、日本遺産「鎮守府・呉」が持つ歴史的価値や物語、魅力を伝えます。

海上自衛隊呉地方総監部第1庁舎(旧呉鎮守府庁舎)

れんがと御影石の調和がとれた、呉市に現存する代表的なれんが構造物。

「鎮守府」のストーリー

明治期の日本は、近代国家として西欧列強に渡り合うための海防力を備えることが急務でした。

そのため、国家プロジェクトとして天然の良港が選ばれ、先端技術を集積し、海軍諸機関とともに水道やインフラが急速に整備され、日本の近代化を推し進めた4つの軍港都市(横須賀市・呉市・佐世保市・舞鶴市)が誕生しました。

この4市は、軍港そして鎮守府(※)が置かれた歴史を共有し、その歴史を体感できる土地です。100年を経た今なお現役で稼働する施設も多く、躍動した当時の姿を残す4市は、懐かしさやたくましさが人々を引きつけており、これが日本遺産として認定されたのです。

※鎮守府とは、旧日本海軍で所管海軍区の警備などに関することを司り、所属部隊を監督した機関。

問 観光振興課 ☎0823-25-3180
文化振興課 ☎0823-25-3462



「10周年」記念事業を実施

日本遺産「鎮守府」のストーリーとして認定されている4市で、節目となる認定10周年を記念し、さまざまな活動を予定しています。今後の動向に注目です。

新たなPR動画作成

4市に点在する構成文化財の魅力を、まとめて発信するPR動画を作成し、さらなる宣伝力を発揮します。

10周年を記念した特別護守印を贈呈

旧軍港4市で配布している護守印を全5種類集めた人に、10周年記念の特別護守印を贈呈します。各市でデザインが異なるため、周遊の更なる契機となります。

10周年記念商品を開発

認定ストーリーを、商品を購入した人やお土産として受け取った人に感じられるような商品を開発します。

その他にも！

- ・クルーズ船の寄港に併せて、4市に関連する商品の販売やパンフレットを配布します。
- ・一部の駅構内のサイネージで広報動画を放映します。

VOICE

記念商品開発に携わる人の声



株式会社 制服のフジ
代表取締役 河崎 圭一郎さん

私は以前から、呉の魅力が伝わる商品の開発に関わっています。大和ミュージアムに多くの来館者が集まる一方で、その他の施設利用者の増加につながっていったのが、「呉のまち」そのものには関心を持たれていないようで、悔しく感じたのがきっかけでした。そこから、商品の購入者やお土産でもらった人が呉のまちに魅力を感じる商品を考えるようになり、まちのストーリーを感じられる日本遺産記念商品の開発にもつながっています。商品そのものに海軍や金唐紙など呉に縁のある要素を取り入れ、その独自性を伝える案内文を記載して、商品に呉の魅力を吹き込み、人々に伝えています。

商品を通じて魅力を伝える

その他の日本遺産

ー北前船寄港地の御手洗ー

江戸時代から明治時代にかけて、北海道・東北・北陸と西日本を結ぶ航路を利用していた北前船。各地の寄港地は、船がもたらした富で栄え、特徴的な町並みや歴史・文化を今日まで残しています。

御手洗地区にも、当時の建物や町並みが現存し、国の「重要伝統的建造物群保存地区」への選定や、日本遺産への認定など、注目を集めています。



VOICE

歴史を伝え守り続ける人の声

ー呉観光ボランティアの会ー

入船山記念館などの文化財をガイドしている松島さん。

日本遺産「鎮守府・呉」が10周年を迎えるにあたり話を聞きました。



呉観光ボランティアの会
会長 松島 信彦さん

近代化を推し進めた多くの歴史的な施設などを身近に感じられるのは、呉のまちの魅力だと思います。私がボランティアガイドになる前、ガイドになるための講習を受講しました。そのとき、日常に溶け込んでいて、普段は気にならなかった風景に、たくさんの歴史が積み重なっていることを知り、感動したのを覚えています。

例えば、入船山記念館にある旧呉海軍工廠時計は、工廠と共に歴史を刻んだもので、歩道を通るだけでも目をひく存在感があります。少し歩くと、威厳のあるれんが造りの旧呉鎮守府庁舎や、重厚感のある旧呉海軍工廠造船部造船船渠大屋根を眺めることができます。

私が呉のまちや歴史に感じた感動を、よりたくさんの人にも感じてほしい。その思いから、ボランティアガイドを続けています。魅力ある呉のまちを未来につなげるため、そして市民がこの魅力に誇りと愛着を持てるよう、これからも活動していきます。

歴史から伝えたい魅力

●認定は旧軍港4市共同

日本遺産「鎮守府」は、日本の近代化を進めた、横須賀市・呉市・佐世保市・舞鶴市の旧軍港4市が、ひとつの「ストーリー」として認定されています。

「日本近代化の躍動を体感できるまち」として、今後も4市が共同で、次世代へと受け継いでいきます。



ー横須賀ー
猿島砲台跡



ー舞鶴ー
京都丹後鉄道 宮舞線 由良川橋梁



ー佐世保ー
旧佐世保無線電信所（針尾送信所）施設